

今月の題字



熊野東中学校3年生
谷村 綾さん

町の人口と世帯数

平成18年5月31日
(前年同月比較)

人口：25,893人 (-151)
男：12,573人 (-92)
女：13,320人 (-59)
世帯数：10,087世帯 (+80)

ミニギャラリー

熊野東中学校 3年 金剛



敦子

【評】ドライポイント版画で「あじの開きと新聞紙」を制作しました。魚の身のふくらみやぜいごのギザギザなどを、ニードルの線の方向や重なりでうまく彫りました。また、新聞紙の質感や印刷面も細かく表現できました。

熊野東中学校 2年 山本 茜

【評】文字の大小の変化や配置に気をつけて書くことができました。今後は、自分らしさが表現できると良いですね。

雨 花 竹 涼

熊野の自然 (202)

ベニシジミ

(シジミチョウ科)



ベニシジミが、ヒメジヨオンの花で蜜を吸っています。タンポポ、シロツメクサなど、いろいろな花にきます。空き地や野原など、明るい草地に多く、低く飛んでは、すぐに花や葉に止まります。止まっている時はねは半開です。開いた時の長さは27〜35mm。メスはオスよりやや大きく、はねの形も丸みがあります。

写真は、はねを閉じていて裏が見えています。前ばねの表は橙赤色で黒い紋があり、縁に黒褐色の帯。後ばねは黒褐色で、縁に橙赤色の帯があります。7月頃から現われる夏型は、黒褐色の部分が大きく広がり橙赤色の部分が減っています。ヨーロッパ・アジアの中

北部に広く分布し、日本でも各地で見られます。熊野町では、シジミチョウ科の中で最も一般的です。暖地では3〜4月から11月頃まで、羽化・産卵を4〜6回くり返し、幼虫で越冬します。幼虫の食草は、スイバ、ヒメスイバ、ギンギンなど。葉肉を食べ、片側の表皮を薄く残します。幼虫は3回脱皮して成長し、蛹になります。蛹の背が割れ羽化が始まると、ぬれて縮んでいるはねに体液を送りこみ、はねを伸ばします。はねが乾くまでは飛ばません。襲われても逃げることはできないのです。羽化も命がけの仕事です。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子



筆匠古城園

広島筆産業株式会社

〒731-4214 広島県安芸郡熊野町3548番地の5
電話：082-854-1145 FAX：082-854-1146
URL：//www.artbrush-hiroshima.com

広告

お手軽リースであっという間に電化住宅
電気温水器・エコキュート
電気クッキングヒーター
株式会社 エネルギアライフ&アクセス 特約店

あつと! 電化ショップ 地域No.1の信頼と実績

広島県安芸郡海田町稲荷町12-11 (JR海田市駅前) ヨコエー ハマイ
株式会社 ハマイ ☎ 0120-555-801
広告 弊社ホームページ <http://555-801.com>

「熊野町の火災と救急」についてはP17の欄外へ掲載しています。



「広報くまの」は再生紙に「ソイシル」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。